

「しではら」——かどま市が生んだ日本の総理—
映画化 賛同資金の協力を!

門真市出身の首相・幣原喜重郎氏の生誕150年を記念して、映画制作が進んでいる。幣原氏は、戦前は外務大臣として平和外交を推進。1931年の満州事変後、国際協

調路線を唱え軍備拡張を進める軍部から「軟弱外交」と批判を受け辞任したが、終戦後、昭和天皇の命を受けて首相に就任。

連合国軍総司令部（GHQ）の占領下で憲法草案作成に参画した。憲法制定には、マッカーサー元帥に「戦争放棄・軍備全廃」を提言し、日本国憲法の起草にあたった。

えるにあたり、有志による記念事業実行委員会が昨年9月に発足。来年1月公開予定の映画『しではら』の制作が着々と進行している。実行委員会では、クラウドファンディングで賛同者を募り資金調達に奔走するなど地道な努力を続けている。

の起草にあたった。

な努力を続けている。



実行委員のあいさつ

現在、門真市役所の市長応接室には、幣原氏が1931年、旧門真町役場に寄贈した直筆の「公直無私」の額が飾られている。「公の職に就く者は実直を旨とし、私欲で行動してはならない」という幣原氏の考えを著したもので、複製は、門真市立歴史資料館に展示されている。「平和外交」を推し進めた幣原喜重郎首相は、門真市の誇りである」と、22年の生誕150年を迎

9月13日（金）、幣原氏にゆかりの深い願得寺（門真市御堂町）で、国際関係学博士の佐藤史郎氏による「門真一番町生まれの宰相・幣原喜重郎の人と業績」の講演会があり、講演後に、社会的な意義の大きい映画『しではら』への賛同資金の訴えがあった。

連絡先：幣原喜重郎生誕150年実行委員会事務局
戸田伸夫・税理士
☎090.4301.6219
門真民生センター
☎09.000.05471
<https://readyfor.jp/projects/shidehara>